

SC400N1-L HDV EX推奨仕様

SC400でご利用いただける（接続できる）パソコンの仕様はパッケージや取扱説明書のものとなりますが、より快適にご利用いただくためには以下の推奨環境でのご利用をお勧めいたします。

推奨仕様に関しましては以下（主にCPU、GPU、メインメモリ、ストレージ）の推奨環境を記載します。

（VideoKeeperLiteにて、OSDによる文字や画像のオーバーレイやウォーターマーク無き事、画面回転無き事、1キャプチャーデバイスでの録画）。

※AMV4の対応OSは同コーデックに従いますが、SC400はWindows8.1には未対応であるためご理解ください。

<H.264 1080p60p推奨環境>

CPU	H.264：intel第6世代Core i5(4コア)以上/第8世代Core i3(4コア)以上[Windows11]
メインメモリ	DDR4以上 Dual 8GByte以上(Windows11では16GByte以上を推奨) ※メモリ速度は各CPUで推奨SPDで動作するもの。
システムストレージ	SATA3 SSD、もしくはM.2などにてNVMe SSD 512GByte以上(非圧縮AVIとAMV4では録画として使用しない) 容量：3～4割程度の空きがあること
録画ストレージ	SATA3 HDD/SATA3 SSD 容量は録画時間に比例しますが最低でも1TB程度を推奨 ※NVMeストレージは推奨しませんが、H.264による録画は現状問題無いと思われます。
グラフィックスボード/GPU (GPUのエンコード支援：必須)	下表「GPUによるエンコード支援一覧」からご利用になりたいGPUをご確認ください。 ※ご利用のパソコンやCPU、マザーボードの世代によってはご希望のコーデックに対応したグラフィックスボードに対応できない場合もあります。事前にご確認ください。 なお、Windows11ではGPU支援は必須となりますのでご注意ください。

※Windows11でCPUのみ（GPUによるエンコード支援無し）の環境においては、CPUへの負荷が多いため推奨環境はございません。

GPUによるエンコード支援一覧			
エンコード支援	CPU(GPU内蔵)/GPU (参考)	YUY2モード	RGBモード
		H.264(4:2:0)	H.264(YUV4:4:4)
Intel®QuickSyncVideo	Core iシリーズ第3～14世代以降	○	
	CoreUltra200シリーズ以降	○	
	intel ARC Aシリーズ以降	○	
NVIDIA®NVENC	GeForce GTX6xx以降	○	
	GeForce GTX750/Ti～RTX	○	○
AMD VCE	Radeon Rシリーズ7/RXシリーズでVCE対応機種	○	

※詳細は「H.264録画と映像処理・パソコンの性能の関係」をご確認ください。

※intel Arc Aシリーズ以降をご利用の際はご利用のマザーボードが「Resizable BAR(Clever Access Memory[C.A.M]/スマートアクセスメモリ)」に対応している必要があります。

※AMD VCEではR7 250では720p/1080i程度、RX550では1080p60pを利用可能です。なおRX6400/6500シリーズはVCEに対応しません。

※NVIDIA GeForce GTシリーズはNVENCに対応しておりません。

<AMV4 240p～480p(YUY2/RGB)推奨環境>

CPU	intel第6世代Core i5(4コア)以上
メインメモリ	DDR4以上 Dual 16GByte以上 ※メモリ速度は各CPUで推奨SPDで動作するもの。
システムストレージ	SATA3 SSD、もしくはM.2などにてNVMe SSD 512GByte以上(録画として使用しない) 容量：3～4割程度の空きがあること
録画ストレージと解像度	HDD：SATA3 7200rpm CMR キャッシュ256GByte(WesternDigital社Gold/BLACKモデルなど) SSD：SATA3（書込：550MB/s程度） 容量は録画時間に比例しますが最低でも1～2TB程度を推奨 ※対象解像度の240p～480pはドロップしづらい解像度ですが、ドロップ無しを保証するものではありません。 ※NVMe方式のSSDは使用しないでください。

<非圧縮AVI 240p～480i推奨環境(YUY2)>

CPU	intel第6世代Core i5(4コア)以上/第8世代Core i3(4コア)以上[Windows11]
メインメモリ	DDR4 Dual 8GByte以上(Windows11では16GByte以上を推奨) ※メモリ速度は各CPUで推奨SPDで動作するもの。
システムストレージ	SATA3 SSD、もしくはM.2などにてNVMe SSD 512GByte以上(録画として使用しない) 容量：3～4割程度の空きがあること
録画ストレージと解像度	SSD：SATA3（書込：550MB/s程度） 容量は録画時間に比例しますが最低でも1～2TB程度を推奨 ※YUY2モード時：対象解像度の240p～480p RGBモード時：240p これらはドロップしづらい解像度ですが、ドロップ無しを保証するものではありません。うまく録画を継続できない場合はAMV4をご検討ください。 ※NVMe方式のSSDは使用しないでください。